

豊中市の図書館活動 I

— 報告 —

令和3年度（2021年度）版



豊中市立図書館

目 次

はじめに.....	1
図書館の使命と理念 基本目標.....	2
1. 数値で見る令和3年度の豊中市立図書館のすがた.....	3
2. 令和3年度 トピックス.....	4
◆ 新型コロナウイルス禍における図書館サービス.....	4
◆ (仮称)中央図書館基本構想の推進.....	5
◆ ICT新サービス「Web 仮登録」「スマホに利用者バーコード表示」開始.....	5
◆ 岡町図書館「予約資料受取コーナー」開設.....	5
3. 地域・市民との協働.....	6
◆ しょうないREK (R:リサイクル E:イベント K:瓦版[情報]).....	6
◆ 千里文化センター「コラボ」.....	7
◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～.....	7
◆ 関係団体一覧.....	8
◆ 市民との取り組み事業.....	9
4. 子ども読書活動推進計画.....	10
5. 事業報告.....	10
◆ 暮らしの課題解決.....	10
◆ レファレンスサービス.....	11
◆ 個人貸出サービス.....	12
◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」.....	13
◆ ヤングアダルト (YA) サービス.....	13

◆ 高齢者サービス	14
◆ 障害者サービス	15
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）	16
◆ 団体へのサービス.....	16
◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス.....	18
◆ 図書室.....	18
◆ 資料の収集と保存.....	18
◆ 人権・平和に関する取り組み.....	19
◆ 研修	20
6. 情報発信（広報・広告など）	21
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察.....	22
8. 図書館協議会	22
9. 図書館評価.....	23
10. とよなかブックプラネット事業.....	23
11. （仮称）中央図書館基本構想	23
施設案内.....	25

はじめに

令和3年度は、図書館にとっても引き続き新型コロナウイルスによる大きな影響を受けた一年となりました。令和2年度は全館を臨時休館し、すべてのサービスを停止した期間もありましたが、令和3年度は、感染防止対策を講じ、予約資料の受け渡し、講座や研修のリモートと対面での併用など、市民に情報提供をおこなう図書館の役割をどうすれば果たせるのかを考え、実施した一年となりました。

その結果、令和2年度に比べ登録者数や貸出人数も増加し、特に図書館のWebサイトからの個人予約件数が増加しました。コロナ禍での外出自粛や図書館での滞在時間の制限が図書館Webサイトの利用増加につながったものと考えています。

さらに利用していただきやすいよう、図書館Webサイトでの利用仮登録を可能とし、同時に予約のための仮パスワードを発行し、1回目の来館で必要な資料を借りられるようにするなど、非来館型サービスの充実にも取り組みました。

地域での読書推進活動については、読み聞かせの取り組みなどが少しずつ再開してきたこともあり、ボランティア対象の研修会もWeb会議システムと対面の両方でおこなうなど、地域での活動を継続して実施できるよう支援につとめてきました。また図書館協議会におきましても読書バリアフリーについて議論をすすめていただくことができました。

さらに（仮称）中央図書館基本構想をふまえ、社会変化を見据えた今後の図書館サービスの方向性や（仮称）中央図書館を中心とした新たな図書館網の構築をめざし、民間事業者との対話をおこなうサウンディング型市場調査を実施しました。

図書館のあり方については市民の皆様からさまざまなご意見をいただいていることから、情報発信の一助として関係団体の皆様を対象とした勉強会や地域の皆様との懇談会をおこないました。

今後も豊中市（仮称）中央図書館基本構想の取り組みや図書館協議会での議論をふまえ、これまでの本市の図書館の強みを生かし、図書館サービスを安定的に提供できる体制構築にむけて取り組みます。

令和4年（2022年）9月
豊中市立岡町図書館
館長 須藤 有美

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・ 多様な資料や情報を収集・保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- ・ 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・ 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・ 豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・ 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・ 豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関としてその任務を果すことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

1. 数値で見る令和3年度の豊中市立図書館のすがた

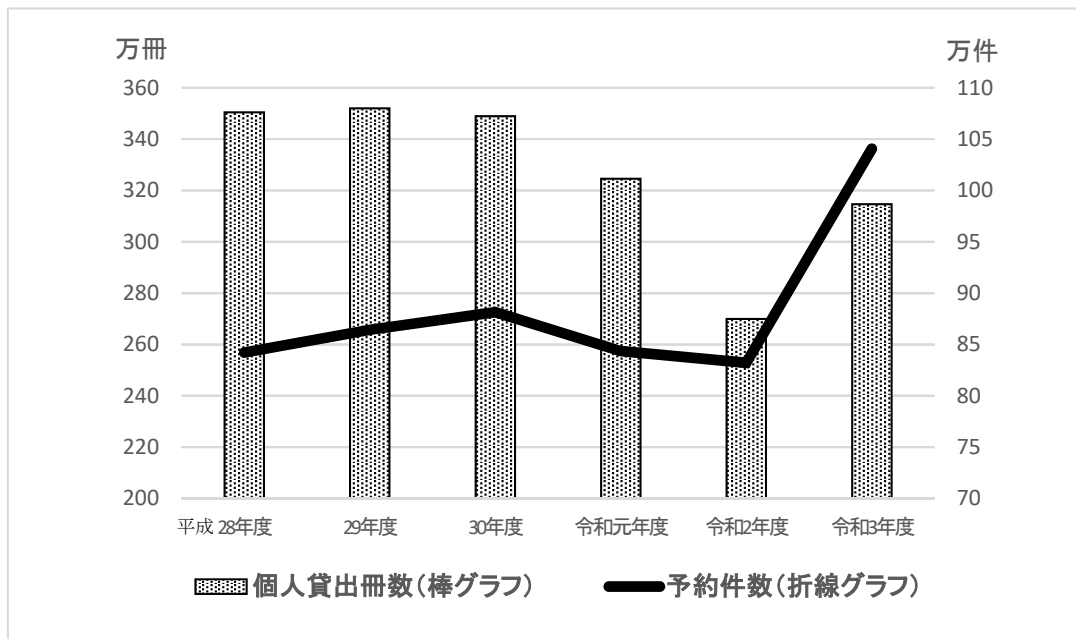
人口	399,965人
個人登録者数	140,454人
個人貸出冊数	3,146,812冊
団体貸出冊数	123,532冊
貸出人数	902,477人
予約（受付）件数	1,040,626件

調査相談件数	79,751件
年間利用者数（入館者数）	1,350,751人
職員数（うち常勤）	109(42)人
蔵書冊数	1,045,857冊
年間受入冊数	47,923冊
図書購入費	73,424,493円

※貸出冊数は継続を含む
 ※年間利用者数（入館者数）は図書室・動く図書館含まず

- ◆ 市民1人あたりの 図書購入費は 184円
 蔵書数は 2.6冊
 貸出冊数は 7.9冊
- ◆ 開館日1日あたりの来館者数は 5,410人 図書室・動く図書館含まず
- ◆ 利用者登録率は 35.1%
※登録率…平成17年度より有効期間5年の更新処理を実施
- ◆ 蔵書回転率は 3.0回
※蔵書回転率…一冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

<個人貸出冊数および予約件数の推移>



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館やサービスの休止をおこなった期間あり（4ページ参照）
 ※ 空調更新工事のため令和2年12/7～令和3年5/31 高川図書館臨時休館

2. 令和3年度 トピックス

◆ 新型コロナウイルス禍における図書館サービス

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、図書館サービスの提供に取り組んだ。4月25日に大阪府に緊急事態宣言が発出され、同日より5月11日まで臨時休館としたが（その後、6月20日まで延長）、予約資料の受け渡しのほか、新規登録、パスワードの発行および、電話や図書館Webサイトによるレファレンスをおこなった。

8月2日から9月30日までの緊急事態宣言期間では臨時休館することなく、換気や機器などの消毒、座席数制限や集会室利用の制限、マスク着用など利用者に感染防止対策について協力を依頼した。

令和4年1月27日から3月7日までのまん延防止等重点措置適用時には感染防止の対策を取りつつ、利用者にもマスク着用・手指消毒、混雑時を避けての来館の協力を求めた。

他部局への応援として保健所での感染者への電話による聞き取り調査・情報整理作業などへ職員が出向いた。不要不急の外出自粛が求められる中での新規サービスとしては、図書館Webサイトでの利用者カードの仮登録を開始した。また同サイトによる情報提供、「『新しい生活様式』で好奇心をつなぐ自宅から使える／楽しめるウェブサイト」の更新、リモートによる一部事業を実施。さらにスライド版図書館見学（DVD）の改訂をおこない、エリアにある図書館の特色を紹介したスライドに加え、新たに動画を導入するなど工夫改良し、各小学校への次年度配布に向けて準備をおこなった。

日付／国・自治体の動き	図書館運営状況
【大阪府を含む】 4月7日 医療非常事態宣言	
4月23日 緊急事態宣言発出（4/25～5/11）	4/25～5/11 臨時休館（予約資料の受け渡し、新規登録、電話や図書館Webサイトからのレファレンスなどは実施）
5月7日 緊急事態宣言 5月31日まで延長（同月28日には6月20日まで期間延長とされた）	～6/20 上記サービスを継続
6月21日 緊急事態宣言解除 8月1日までまん延防止等重点措置適用	6/21～ サービスを制限して開館（館内資料の貸出再開。館内での閲覧など滞在につながる利用は不可） 7/1～ 段階的にサービスを拡充（館内滞在1時間以内での利用を呼びかける）
7月30日 緊急事態宣言発出（8/2～8/31）	8/2～ 館内滞在30分以内を呼びかける。集会室利用は20時まで
8月17日 緊急事態宣言 9月12日まで延長 その後9月9日には9月30日までの再延長となる。	8/25～ 時間枠は設けず、できるだけ短時間での利用を呼びかける（座席利用・滞在利用等は不可）
10月1日 緊急事態宣言解除 まん延防止等重点措置には移行せず	10/1～ 座席利用や滞在利用などを再開、集会室利用を用途や利用人数を制限して再開 11/1～ 国立国会図書館の歴史的音源の利用等再開（岡町図書館参考室・千里図書館）
令和4年1月27日～2月20日（2/18には3/6までの延長、さらに3/21までの延長決定）大阪府内 まん延防止等重点措置適用	「まん延防止等重点措置に基づく図書館からのお知らせ」として図書館では感染防止対策を講じて開館をしていること、また利用者に向けて手指の消毒やマスク着用の協力を依頼する内容のポスターを掲示。3/22以降は「図書館からのお知らせ」として同内容を継続してポスター掲示

◆ (仮称) 中央図書館基本構想の推進

社会変化を見据えた今後の図書館サービスの方向性や(仮称)中央図書館を中心とした新たな図書館網の構築について方針を示すため、令和3年2月に「豊中市(仮称)中央図書館基本構想」を策定した。令和3年度には同構想に基づき、サウンディング型市場調査を実施した。また、「これからの公民学連携と図書館について」をテーマに図書館関係団体向け勉強会を開催した。(23 ページ参照)

◆ ICT新サービス「Web 仮登録」「スマホに利用者バーコード表示」開始

Web 仮登録システムを導入し、新規の利用登録申請をオンラインでも可能にした。図書館 Web サイトで利用者自身が情報を入力して仮登録する。同時に仮パスワードが発行されるので本登録前に資料の予約をすることも可能になった。市民対象、10月開始。

また新たに利用者バーコード表示機能を導入した。図書館 Web サイトでログインして利用者カード番号のバーコードをスマートフォンの画面に表示させると、日常の利用時に利用者カードの代わりとして使用できる。12月より開始した。



Web 仮登録申請は図書館 Web サイトから



スマートフォンを利用者カードの代わりに使える

◆ 岡町図書館 「予約資料受取コーナー」開設

岡町図書館では7月より2階貸出室に「予約資料受取コーナー」を開設。セルフ返却機も設置し、資料の返却から予約資料の受け取りまで、セルフでの手続きが可能になった。コーナー開設後は、職員が状況に応じて利用者サポートに入る体制で、資料提供の効率性を高めるとともに来館者への丁寧な利用案内につとめた。資料点検による休館中も同コーナーを開放し、4日間で270人582点の貸出につなげた。

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、子どもの読書活動推進・障害者サービス・多文化サービスなどさまざまな分野の事業に市民との協働によって長年取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」ほか、市民とともに築き上げてきたものである。また障害者サービスでは、市民グループによる点字図書・録音図書・さわる絵本の製作や対面朗読などにより、目や体の不自由な人の読書環境を整備してきた。

令和3年度は、ブックスタート事業「えほんはじめまして」のスタッフミーティング、障害者サービス、しょうないREK、北摂アーカイブス事業、図書館サポーターの活動、対面朗読などにおいて、市内の感染状況を見ながら、Web会議システムの活用とともに対面での開催を一部再開した。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人、地域や組織がつながるすべての人にとっての「わたしの図書館」であることをめざしている。協働により、市民感覚が事業に反映され、地域に根ざした図書館活動につながると考えている。

◆ しょうないREK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）

正式事業名：「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」



「夏休み体験教室・ヒップホップダンス」



「年に一度の在庫市」

平成16年度協働事業提案制度に市民活動団体「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を提案、成案化され事業開始した。以降17年にわたり、庄内図書館3階での常設販売や地域のイベントでの出張販売（Recycle）、地域活性化のためのイベント実施（Event）、地域情報誌瓦版の発行（Kawaraban）を柱として活動している。

リサイクル本の出張販売は新しく「ひろばイベント」（豊中市伊丹市クリーンランド）・「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」（服部緑地都市緑化植物園）で実施した。例年出展している「とよなか市民環境展2021」（豊島体育館）では、保存期間を過ぎた雑誌付録の販売を再開し好評であった。

常設リサイクル本販売は、臨時休館中など一時休止期間をはさみながら8回実施し、常設販売の拡大版イベント「年に一度の在庫市」を3年ぶりに開催、年間合計3,087冊を販売した。

「夏休み子どもプログラム」では例年実施している「プリント宿題解決コーナー」・「工作教室」に加えて、体験教室としてヒップホップダンスを企画・開催した。

また2年ぶりに「庄内瓦版ええやん！しょうない」を発行（4,000部）、南部地域の小・中学生を中心に配布した。

◆ 千里文化センター「コラボ」

5つの施設（公民館・図書館・介護予防センター・市役所出張所・保健センター）がひとつの建物に集まる利点を生かし、行政サービスや文化活動を通じて多くの市民が利用・交流する、市民と行政の協働の場をめざしている。図書館もその一翼を担い、千里文化センター事業などに関わっている。



「クイズバラエティ『千里ニュータウン大謎解き大会』」

「コラボまつり」は年に一度、市民の活動発表・作品展示、コラボ内施設の催しなどを実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染状況により「WEBコラボまつり」という形での開催となった。千里図書館も紹介動画を職員全員で作成し、公開した。

また3月末には共催事業「写真展・千里ニュータウンの60年」において、「クイズバラエティ『千里ニュータウン大謎解き大会』」を開催。クイズと図書館資料で千里の歴史や謎を探るイベントをニュータウン研究者・奥居武さんとともにレファレンス担当司書が進行し、熱心な参加者とのやり取りがおこなわれた。

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集・デジタル化しキャプションをつけて Web 上で公開している。図書館は北摂アーカイブス事務局として、市民とともに活動している。



文化芸術センター「北摂アーカイブス写真展」



北摂アーカイブス Web サイト リニューアル

吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議*がアーカイブスのメンバーに加わった。

市制施行 85 周年にあわせて、文化芸術センターや市内各図書館、旧羽室家住宅で写真展を開催した。また Web サイトをリニューアルし、豊中市に点在するお地蔵さまや、吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議が所蔵する千里ニュータウンや昭和 45 年の日本万国博覧会（EXPO' 70）の建築現場の写真などを公開した。

また『地域資料のアーカイブ戦略 JLA図書館実践シリーズ 46』（蛭田 廣一／編 日本図書館協会）の第 2 章「地域住民と協働したデジタルアーカイブ」を職員が執筆した。

* 千里ニュータウンの再生に向け、吹田市および豊中市がそれぞれの市の行政区域を越えて情報の交換をおこない、必要な行政間の調整、共同事業を推進する会議。

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	障害者・高齢者読書支援
<p><子ども文庫></p> <ul style="list-style-type: none"> *おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *きずなの里文庫 *くれよん文庫 *Keiおばさんの本の部屋 月よう文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 まめぶんこ ゆめのき文庫 (*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫) 	<p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本 かすみ草</p> <p>多文化読書支援</p> <p>国際交流の会とよなか（T I F A） おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご 千里にほんご</p> <p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 とよ読書会（豊中市立図書館利用者の会） 豊中読書会 原田読書サークル 木よう読書会</p>
<p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p> <p>その他</p> <p>豊中図書館の未来を考える会 しょうないREK 地域情報アーカイブ化事業実行委員会</p>

◆ 市民との取り組み事業

事業名	団体名	開催数 (日数)	実施館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座	おはなしボランティアポケット	6	岡町
子どもと本のつどい（講演会・原画展）	豊中子ども文庫連絡会	6	岡町
子どもと本のまつり	豊中子ども文庫連絡会	1	岡町
豊中子ども文庫連絡会例会 等	豊中子ども文庫連絡会	11	岡町
工作シート配布	豊中子ども文庫連絡会	—	全館
おはなしポケット例会 等	おはなしボランティアポケット	15	岡町
おはなし会がやってきた	ミックスJAM・おはなしボランティアポケット	3	岡町
おはなし会（おはなしポケット）	おはなしボランティアポケット	3	服部
おはなし会 等		1	蛭池
おはなしプレゼント（定例会）他	野畑おはなしの会	12	野畑
ふゆのおたのしみ会	Keiおばさんの本の部屋	1	野畑
ブックスタートスタッフミーティング・研修	豊中子ども文庫連絡会・おはなしボランティアポケット・登録ボランティア	2	岡町
しょうないREK実行委員会 等	しょうないREK実行委員会	11	庄内
陶器とりかえ隊	しょうないREK・赤ちゃんからのESD	2	庄内
夏休み体験教室・工作教室 等	しょうないREK	4	庄内
古本市（とよなか市民環境展 等）		4	庄内
リサイクル本コーナー		8	庄内
図書館サポーター	登録ボランティア	13	庄内
見守りサポーター		9	野畑
見守りサポーター	登録ボランティア	11	蛭池
地域情報アーカイブ化事業 編集会議 等	地域情報アーカイブ化事業実行委員会・地域フォトエディター	27	岡町
北摂アーカイブス写真展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	—	岡町 庄内 千里 野畑 高川 蛭池
音訳ボランティアフォローアップ講座（含：選定会議）	グループエコー・大阪声のグループ 他	3	岡町
おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	31	岡町
しょうないおやこでにほんご		13	庄内
せんりおやこでにほんご		24	千里
千里にほんご	千里にほんご	5	千里
YAボランティア活動	YAらぼ	6	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのESD	4	千里
たかがわ地域子ども教室	千里ネイチャークラブ	7	高川

4. 子ども読書活動推進計画

「第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承した「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念に基づき、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、子どもの読書環境の整備と読書活動の推進に取り組んでいる。

子ども読書活動連絡会を2回開催し、GIGAスクール構想^{*1}における豊中市「一人一台タブレット」導入の状況や、ビブリオバトル^{*2}をテーマに情報共有と意見交換をおこなったほか、「2021年度版とよなかこども読書マップ」を更新した。アンケートからは、コロナ禍においても、子ども読書活動連絡会での交流や情報交換が必要という意見が寄せられた。

今後も子ども読書活動連絡会の協力体制のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。



第2回子ども読書活動連絡会

*1 学校における高速大容量のネットワーク環境および児童・生徒一人に一台端末の整備、などを推進する文部科学省の施策。令和元年より開始。

*2 ルールに則って、おすすめの本を紹介し合うコミュニケーションゲーム。

5. 事業報告

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。新型コロナウイルスの影響により、関係部局・機関と連携したセミナーの開催などが困難な中、各テーマにそった資料収集や情報提供などを工夫しておこなった。

各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載9ページ）	
医療・健康情報	<講座>
	○認知症サポーター養成講座（5回 会場：岡町、庄内、野畑、東豊中、蛍池図書館 共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会）
	○小学生対象の認知症サポーター養成講座（会場：高川図書館 共催：緑地地域包括支援センター高川分室）
	<関連資料の展示・貸出その他>
	○闘病記の巡回展示（千里、蛍池図書館）
○図書館Webサイト上の闘病記リストの更新	
○「広報とよなか」の該当箇所を拡大掲示（岡町、蛍池図書館）	

<p>多文化共生</p>	<p><選書></p> <ul style="list-style-type: none"> ○とよなか国際交流協会を通して、市内在住の外国語を母語とする人へ読みたい本・必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施 ○書店が開催する外国語資料の選書イベントに参加 ○調べ学習資料のSDGs英語書籍（絵本）を購入 <p><多文化コーナーのPR></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本語教室」（会場：庄内公民館 主催：とよなか国際交流協会）での情報提供（関連資料のリスト・外国語版の「豊中市立図書館を使う方へのお知らせ」（貸出のきまり）を配布、図書の展示） <p><配本・貸出></p> <ul style="list-style-type: none"> ○とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出
<p>ビジネス・就労</p>	<p><ブックリストの提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ○とよなかまちゼミ（主催：meet-upとよなか オンライン講座と少人数での対面講座をメインに実施）で、参加された店舗のゼミのテーマにそってブックリストの作成・提供 <p><ビジネス・就労支援サービスのPR></p> <ul style="list-style-type: none"> ○パスファインダー「業界動向」「事業を始める・起業」「特許・知的財産」「就職・転職」「事業承継」の改訂 <p><配本・貸出></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「豊中しごとセンター」と「とよなか起業・チャレンジセンター」へのビジネス・就労支援関連資料の配本・貸出
<p>子育て・DV</p>	<p><パネル展></p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童養護施設パネル展と関連図書の展示と貸出（会場：岡町図書館 主催：児童養護施設・大阪水上隣保館 翼） <p><PR・その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○みんなが子育て応援団 モバイルスタンプラリー（会場：岡町、庄内、庄内幸町、千里、野畑、東豊中、服部、高川、蛍池図書館 主催：こども政策課 「赤ちゃんの駅」登録の子育て応援施設である全図書館が、スタンプスポットとして参加） ○パスファインダー「子育て」の改訂

◆ レファレンスサービス

資料をつかって日常の疑問や、仕事に必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口・専門家の紹介もおこなう。

レファレンス記録の一部は国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録し、Web公開している。令和3年度の被アクセス件数は、参加館878館中第6位、市町村立図書館の中では平成27年度以降7年連続で第1位となった（令和3年12月31日現在）。また、調べ方マニュアルに「1970年万国博覧会（大阪万博／EXPO'70）を知るブックリスト」「千里ニュータウンを知るブックリスト」を登録した。

「図書館雑誌」（日本図書館協会）令和3年（2021年）6月号には、職員による記事「れふあれんす三題噺●連載その二百八十五 豊中市立図書館の巻『“紙”から広がるレファレンス—情報の世界の窓口として—』」が掲載された。

新規データベースとして「毎索」（岡町）、「官報情報検索サービス」（千里）、職員による代行検索ができる「ジャパンナレッジLib」・「WhoPlus」（全館）が導入され、レファレンスに活用されている。



新規データベース導入ポスター

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

令和3年度の個人有効登録者数は1.2%増加。緊急事態宣言期間が2回あったが、継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は10.2%増加。年齢別貸出人数（15才以上）は14.1%増加している。全館臨時休館中は予約の受け渡しをおこない、その後も一部のサービスを制限した上で開館したことにより、利用が回復してきたと考えられる。特徴的なのは、令和2年度であってもそれほど減少していなかった個人予約件数が26.1%増加、その中で、図書館Webサイトによる個人予約件数が28.1%増加していることである。来館して予約する、各館カウンター窓口・館内OPACによる個人予約受付件数は15.5%増加なので、Webサイトでの予約数が大幅に伸びたといえる。コロナ禍を経て、非来館型サービスであるインターネット予約が急速に拡大した。

緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対応に終始した1年間であったが、利用者の協力により感染拡大防止対策を講じながらできる限り開館を続け、サービスの提供につとめた。

■登録率 35.1%	■個人有効登録者数 140,454人	■年齢別貸出人数（15才以上） 744,039人
■継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書） 1,519,606冊	■個人予約件数 961,047件	
■個人予約件数（Web+携帯） 825,412件	■個人予約件数（館内） 135,635件	

<こども室・児童書コーナー>

14才以下の個人有効登録者数は2.5%減少したが、年齢別貸出人数は26.1%増加した。また、児童書の貸出冊数は25.5%の増加、個人貸出冊数は27.4%増加した。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての全館臨時休館やサービスの制限、空調更新工事の休館などで、貸出人数や貸出冊数が減少していたが、令和3年度はともに回復し、前年と比べると大幅増となった。

定例のおはなし会は休止する館が多かったが、感染者数が減少した時期などには、少人数や事前申込制にするなど工夫をして実施する館もあった。

「本の福袋」の貸出をおこなう館もあり、年齢・学年や、季節に合わせた選書で好評を得た。

また、豊中子ども文庫連絡会50周年記念の取り組みとして、図書館資料を貸し出すとともに工作シート（約1700枚）を子どもたちに手渡した。

出前講座は、新型コロナウイルスの影響で中止となることも多い中、感染が落ち着いた時期に地域の子育てサロンへの出張や、刀根山高校の家庭科で絵本の授業にも取り組んだ。

さらに、野畑図書館での第二中学校の作品展示「旅行ガイドをつくろう」をはじめ、多くの館で学校図書館との連携展示を実施した。

また、子育て支援センターほっぺと連携し、豊中市こども相談課公式ツイッター「ほっぺちゃん通信」にて子育て世代に絵本の紹介をおこなった。

- 個人有効登録者数（14才以下）22,189人
- 年齢別貸出人数（14才以下）158,438人
- 継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む）1,179,414冊
- 継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書）1,102,694冊

◆ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館と母子保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、絵本を手渡してきた。この事業は、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんとその保護者と関わりを持つ貴重な機会である。

しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は健診会場において母子保健課を通じて引換券を配布、後日図書館にてブックスタートパックと引き換える形とした。令和3年度は配布方法を見直し、会場で直接絵本の入ったブックスタートパックを保健師から手渡した。

スタッフミーティングなどは感染拡大防止対策のうえ、対面で実施。さらにブックスタートスタッフ研修として青山台文庫・絵本学研究所主宰の正置友子さんを講師として赤ちゃんと絵本をテーマに講演会を開催。スタッフが理解を深める機会とした。



ブックスタートスタッフ研修

◆ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、主に中学生・高校生（12～18才）の世代を指す。

野畑図書館でおこなった第二中学校生徒のおすすめ本リスト展示は、学校のWebサイトで学校長に紹介されたこともあり、好評であった。千里図書館では大阪教育大学附属池田中学校の生徒による展示をおこなった。千里図書館で活動するYAらぼ（YA世代のボランティア）は、世代交代しながら令和2年度同様に計8人が登録。主にメールでのリモート活動をおこない、「YA！BOOKS通信」の作成や、夏休みにおすすめの本の紹介をおこなった。また「ミニときどき！おはなし会」にも参加し、絵本の読み聞かせを通じて子どもたちやその保護者との交流の機会をもった。



大阪教育大学附属池田中学校生徒による展示

- 個人有効登録者数（12～17才）16,734人（18～21才）6,171人
- 年齢別貸出人数（12～21才）57,329人

おもな取り組み	実施館
中学生職場体験学習おすすめ本POP展示	岡町、千里、蛍池図書館
子ども読書活動フォーラム展示	岡町、庄内、千里、野畑図書館
各館の取り組み	
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷとの連携展示「なりたい自分」になろう！	岡町図書館
市内高校への学校訪問、YA!BOOKS通信20号発行(豊中市・大阪府出身の作家のおすすめ本紹介)、千里青雲高校文化部発表会において図書館紹介のブース設置、第十六中学校生徒のボランティア活動の受入、大阪教育大学附属池田中学校生徒による展示、千里青雲高校図書委員によるおすすめ本POP展示、YAらぼによるときどき！おはなし会、高校情報パンフレット展示と配布	千里図書館
第二中学校生徒調べ学習展示・おすすめ本リスト展示、高校情報パンフレット展示と配布、十八歳成人制度関連展示と啓発パンフレット配布	野畑図書館
小中学校連携巡回POP展示	東豊中図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会(新型コロナ感染拡大防止のため紙芝居会を収録したDVD配布による実施)、エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施	高川図書館
第十八中学校生徒による職場体験学習に代わる取り組み「地域の事業所応援紹介冊子作成」への協力(蛍池図書館紹介ページ)、学校図書館の活動紹介と作品展示、高校情報パンフレット展示と配布	蛍池図書館

◆ 高齢者サービス

豊中市立図書館協議会から令和3年3月に提出された「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について(報告書)」を踏まえ、高齢者が社会、地域とつながり、人生をより豊かに生きる社会の実現に向けて、以下のように取り組んできた。

庄内図書館では、高齢者のニーズに合わせ、ストレッチ、スマートフォンの使い方、一人分の食事レシピなど、老後の前向きな暮らしを考える資料を集めた「シニアライフ応援コーナー」を設置している。介護老人福祉施設やデイサービスセンターへの団体貸出、配本サービスもおこなっている。また、市内全域の高齢者施設に対して、図書館資料のリサイクル活用の希望を募り、3施設に299冊譲渡した。庄内公民館と連携し、高齢者の参加も多い公民館講座で、図書の展示・貸出とブックリストの配布もおこなっている。



「たかがわ地域子ども教室」作品

高川図書館では「たかがわ地域子ども教室」を夏から冬にかけて7回開催した。高齢者の経験と特技を地域の子どもたちに伝える異世代交流の場となっている。また、緑地地域包括支援センター高川分室との共催で小学生対象の「認知症サポーター養成講座」を開催。市内の各図書館(岡町、庄内、野畑、東豊中、蛍池)でも、長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催し、「認知症サポーター養成講座」を実施した。

蛭池図書館では、毎月来館される高齢者施設への団体貸出をはじめ、認知症についての図書を集めた「認知症の棚」、大きな活字の本、高齢者向けの紙芝居を一角にまとめ、手に取りやすい配置としている。また、毎月替わるアナログレコードの展示・貸出では、懐かしさを感じる高齢者の関心を集めている。



アナログレコード展示

◆ 障害者サービス

身体上の都合で来館できない市民に宅配や郵送で資料の貸出をおこなっている。また、視覚に障害がある人などを対象に対面朗読を実施している。

対面朗読はWeb会議システムを活用するとともに、ボランティアと利用者の両者来館による実施も含め、新型コロナウイルス感染拡大防止につとめつつ、サービスを提供した。緊急事態宣言下で来館の制限がある際には職員による対面朗読を実施し、「ICレコーダーによる代読録音サービス」^{*1}についても前年度に引き続きおこなった。

委託製作している音点訳図書の製作候補の選定にあたっては、例年以上に幅広く利用者のリクエストを取り入れられるよう、個別に聞き取りをした。

令和2年度と同様に「音訳ボランティアフォローアップ講座」^{*2}は、感染拡大防止策をとりながら対面で実施できた。

活動開始から40年を迎えたDaigasグループ“小さな灯”運動北東部支部より、プレクストークPTR3^{*3}とデイジー図書再生可能なCDラジカセの寄贈があり、伊藤忠記念財団からマルチメディアデイジー図書「わいわい文庫」の寄贈があった。マルチメディアデイジー図書については市販品も購入し、蔵書の一層の充実を図った。

図書館協議会では図書館での読書バリアフリーの取り組みについて議論を重ねている。障害者サービスについて広く知ってもらうために資料展示を岡町図書館2階の貸出室でおこなった。障害者サービス資料についてテーマごとに展示することで、障害者サービスの対象ではない来館者からも関心を持ってもらうきっかけになった。

今後は図書館協議会での審議や当事者意見の聞き取りの結果などをふまえて、より良いサービスのあり方を考えていく。

*1 利用者が希望する資料の朗読をICレコーダーに録音し、CDで提供。

*2 音訳ボランティアの技術向上のため実施している講座。

*3 視覚に障害のある人が音声で読書するための卓上型デイジー図書再生録音機。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部署に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、ブックリストの配布や庁内サイトへの掲載による、各職階の新任職員研修や課題研修での情報提供をおこなっている。レファレンスでは、「プロジェクトチーム立ち上げに関する参考資料」や「事業実施に伴う過去の経緯の確認」などについての依頼が多かった。

また、市議会議員の調査活動に資するため、市議会図書室を通じて市立図書館の蔵書を提供するしくみを構築した。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、幼稚園、保育所（園）、こども園、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

<学校図書館>

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供など、基本的なサービスを実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響も少しずつ落ち着いてきたとみられ、特に2学期以降はグループでの調べ学習を実施する学校が増えた。令和3年度は、小中学校図書館への貸出冊数は前年比10.7%増。

毎年2回開催している学校司書と公共図書館司書との地域館交流会は、前期にWeb会議システムで、後期に対面で実施し、学校・公共間および、地域の学校間での情報交換などをおこなった。千里図書館では、小学校への図書館だよりの内容を、従来の来館を促すものではなく、本の探し方のヒントを扱った記事に内容を改めた。高川図書館では、夏休みスタンプラリーを実施したほか、第十二中学校の紙芝居会のための選書と読み方指導の協力をおこなった。また、担当エリアの小中学校卒業生全員に高川図書館YAコーナーのPR文を、小中学校教員には教員支援用資料の中から貸出ベストの紹介と教員向け資料の検索方法を案内するおたよりを配布した。蛍池図書館では、ロビー展「学校図書館大集合」を実施し好評であった。

岡町図書館の団体リサイクル常設コーナーには、学校司書が来場し、学校図書館や学級文庫用の本を選んだ。利用校数は16校、利用冊数は693点であった。

■小中学校図書館への貸出冊数 59,204 冊（継続貸出12,188冊含む）

<学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」・「学習・情報」・「教員支援」の3つの機能をサポートしている。岡町図書館のパッキング資料（調べ学習サポートパック・図鑑セット・総合百科事典ポプラディア）については、特に図鑑や総合百科事典ポプラディアの利用が多かった。令和3年度は、総合百科事典ポプラディア第三版（全18巻）が出版され、12セットを購入した。また、要望のあったポケット版動物図鑑（小学館の図鑑 NEO POCKET）も新たに購入、その他、図鑑や調べ学習に活用できる資料を追加購入した。

<幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後子どもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育所に、季節や行事などに関係する資料の貸出をおこなっている。平和・家族・仕事などテーマの資料に関するリクエストも多い。貸出や受取場所などについて各施設の相談にも応じ、選書・配本の協力をおこなっている。小学校の放課後子どもクラブには図書館が選定した定評のある本・紙芝居などを配本・貸出していたが、令和4年度からサービス変更となる。そのため、放課

後こどもクラブに貸出していた本を回収し、42校すべての放課後こどもクラブへ団体リサイクル本2,300冊を提供した。

<子ども文庫>

市内の子ども文庫は12文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館からは文庫活動を支援するために長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供し、サポートにつとめている。

令和3年度も、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、休止する文庫もあったが、時間や人数を制限するなど工夫をしながら活動している。



「子どもと本のまつり」



「スマイルショップへようこそ
～きたむらさとしの世界を楽しもう！～」

毎年、豊子連と共催で「子どもと本のまつり」・「子どもと本のつどい」を実施している。豊子連50周年記念にあたり「子どもと本のつどい&まつり」を同時期開催とし、積極的にPRをおこなった。

「子どもと本のつどい」では、絵本作家のきたむらさとしさんを講師に「スマイルショップへようこそ～きたむらさとしの世界を楽しもう！～」を開催、Web会議システムによるライブ配信も同時におこなった。配信には国外からの参加もあった。あわせて原画展も開催した。

「子どもと本のまつり」では、新型コロナウイルス感染防止につとめながら、集会室でのおはなし会と手作り工作をおこなった。

<おはなしボランティア>

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により図書館の集会室利用ができない期間があり、多くのボランティアグループが場所を変えながら、子どもへの読み聞かせのほか、自主的な勉強会や例会、講座など活動を続けた。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（9ページ）を参照。「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」Part1では、日本図書館協会児童青少年委員会委員・川上博幸さんにより「子どもの本の紹介文の書き方」をテーマに実施した。Part2では、令和3年度の新刊を会場に集めた「絵本の広場」を開催。新たな絵本との出会いやボランティア同士の情報交換、交流の場とした。同時に豊中市在住の絵本作家・中川洋典さんのトークタイム「絵本へ続く曲がりくねった一本道」と職員による絵本紹介をおこなった。

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れた地域や来館が困難な子どもたちの通う施設へ、動く図書館車に約 3,000 点の資料を載せ、16 ステーションおよび 5 施設を約 4 週間に 1 回の頻度で巡回した。

動く図書館でも、返却と予約受け渡しのための時期があり、貸出人数はコロナ禍以前より少ないが、個人貸出冊数は以前の水準に戻ってきている。不要不急の外出を控えていた時期に自宅でできる活動として読書の時間が増え、いつもより多く借りる人が多かった。4 週間に 1 回の巡回では本が足りない、もっと頻繁に巡回に来てほしいとの声や、今まで最寄りの図書館を利用していたが、屋外で利用できる動く図書館へ来るようになったという声もあった。

服部緑地都市緑化植物園では「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」を開催し、巡回貸出のほかおはなし会や、しょうない R E K によるリサイクル本販売もおこなった。

年度後半には、児童発達支援事業所あゆみ、児童発達支援センター、豊中支援学校の通園児へ向けて「おはなし会がやってきた！」をボランティアグループと職員でおこなった。施設の教職員と相談し、クラス毎に開催する・短時間にする・大型絵本やパネルシアターのみで構成する、など感染対策をとりながらの開催であった。

保育所（園）・こども園 5 施設については 2 カ月に 1 回の頻度で配本し、年 1 回の巡回貸出もあわせておこなった。

■貸出人数 6,238 人

■個人貸出冊数 40,072 冊

◆ 図書室

利倉西センター図書室には約 4,300 冊の資料があり、週 2 回午後 2 時から午後 5 時まで開室している。豊島西小学校のバス図書室を移転して 3 年が経過し、コロナ禍にもかかわらず利用実績はほぼ横ばいとなっている。

いぶき図書室は、「青年の家いぶき」改修工事とともない令和 3 年 3 月 20 日から休室し、4 月から令和 4 年 3 月まで近隣の「共同利用施設 穂積センター」の玄関口で週 2 回午後 2 時から午後 4 時まで返却と予約の受け渡しをおこなった。閲覧および貸出用の資料が常置されない中、週 8 時間から 4 時間に半減し、利用は減少した。

(穂積センター玄関口サービス) *

■貸出人数 2,457 人

■貸出冊数 5,867 冊

(利倉西センター図書室)

■貸出人数 1,975 人

■貸出冊数 5,783 冊

* 穂積センター玄関口サービスの数値は「統計・資料」の「いぶき図書室」の数値を参照。

◆ 資料の収集と保存

収集に関しては毎週 1 回、職員で構成する選書委員会で、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館 Web サイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも配慮しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の生活に役立つ資料を幅広く収集している。新たにデータベースを複数導入し、省スペースで効率的な情報提供の手段を増やした。また、電子書籍の導入についても検討をすすめた。

保存については、野畑図書館書庫を豊中市立図書館全体の書庫としている。職員がそれぞれの図書館で、ま

た定期的に野畑図書館書庫に集まり、個々の資料について保存検討をおこなっているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で集まって会議をすることが困難であった。

(仮称)中央図書館基本構想を踏まえた蔵書の構築および保存につとめていくことが喫緊の課題であることから、日本図書館協会児童青少年委員会委員・川上博幸さんを講師に「除籍と保存についての研修」をおこなった。実際の資料を使ったワークショップなどを通じて、蔵書構築における収集・保存・除籍について考える機会とした。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、各種資料展示や講演会・パネル展を実施し、職員と市民がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

事業名
市民向け人権講演会・資料展示・パネル展
資料展示「戦争と平和（平和月間）」 資料展示「男女共同参画週間連携展示 2021（男女共同参画週間）」すてっぷと共催（岡町図書館） 資料展示「人権関連資料（人権月間）」（各図書館 蛍池図書館は通年） 参加型展示「平和の木」（庄内、東豊中、高川、蛍池図書館）
作品・資料展示 「豊中第四中学校夜間学級作品展」（野畑、服部、蛍池図書館） パネル・資料展示「児童養護施設パネル展」（岡町図書館） 作品・資料展示 「読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する『りんごの棚』展」（岡町、庄内図書館） パネル展示「ユニセフ写真展 コロナ禍における世界の子どもたち」（千里図書館） ビデオ上映・関連物品やパネル展示・関連図書貸出「思いやりの心が平和を導く（平和月間）」千里公民館と共催（千里図書館）
職員研修
聴覚に障害のある市職員によるオンライン・対面型講義「誰もが働きやすい職場づくりのために～聴覚障害について～」 配布資料：「ママと呼んで欲しいから」「難聴でお困りの方へ人口内耳のご紹介」「知っておきたい難聴治療 世界で45万人が選択した人工内耳」（以上冊子）、振り返りシートの作成、職員間での共有
豊中市人権教育推進委員協議会会長によるオンライン・対面型講義「豊中市の同和問題」 配布資料：法務省・全国人権擁護委員連合会チラシ、振り返りシートの作成、職員間での共有
違法・有害情報相談センター職員によるオンライン講義「情報モラル・リテラシー研修」 配布資料：違法・有害情報相談センターのチラシ、振り返りシートの作成、
「外国人と人権」（動画 YouTube）の視聴、アンケート・レポートの作成、職員間での共有
人権啓発DVDの視聴、感想や意見交換、感想レポートの作成、職員間での共有 「サラマット～あなたの言葉で～」 「君が、いるから」 「江戸時代の身分制度と差別された人々」 「明治維新と賊民廃止令」 「ともに生きる 私たちの未来『部落差別解消推進法』がめざすもの」 「同和問題 未来に向けて」

◆ 研修

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの研修がリモートでおこなわれた。

読書バリアフリー法の施行を受け、今後の図書館における障害者サービスについて学ぶことにつとめた。「レファレンス」・「児童サービス」・「学校図書館」などのテーマについては継続して取り組んでいる。また、行政職員としての知識や技術習得のため、政策課題にそった庁内研修を受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専 門 研 修	一 般 研 修
公立図書館と学校との合同研修 「読書のバリアフリーのための支援資料について」	第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画に係る研修会
令和3年度大阪府図書館司書セミナー 「なぜ図書館が必要なのか」等	クレーム対応研修
令和3年度全国公共図書館研究集会	New Education Expo 2021
令和3年度大阪公共図書館協会 児童サービス基本研修・実務研修	障害者接遇研修
令和3年度大阪公共図書館協会 参考業務実務研修	認知症サポーター養成講座
令和3年度大阪公共図書館協会 障害者サービス基本研修・実務研修	情報セキュリティ研修
太子連児童文化講座 「学校図書館におけるICT活用」等	人権研修主任推進員・推進員等合同研修
講演と新刊紹介 2020年出版された子どもの本	著作権法研修
2021年度近畿視覚障害者情報サービス研究協議会 障害者サービス基礎研修会	
2021年度サピエ研修会	
令和3年度障害者サービス担当職員向け講座	
図書館基礎講座2021 in 関西	
令和3年度新任図書館長研修	
令和3年度図書館地区別研修	
令和3年度児童サービス研究交流会	
令和3年度著作権実務講習会	
除籍と保存についての研修 (豊中市の職場研修支援を活用して課内で開催)	
第41回2021年度児童図書館員養成専門講座	
計：48講座 180人参加	計：17講座 387人参加

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業をすすめている。

市民課にて転入者向けに配布する図書館案内チラシに、10月に開始したWeb仮登録の案内を掲載。また下記のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
「文化祭で千里図書館とコラボしました！」で、文化祭での千里図書館とのコラボの紹介と、YAらぼの紹介	大阪府立千里青雲高校 図書ブログ	2021.9	Web
とよさんぽ「阪急宝塚線駅～北大阪急行線駅まで〇〇しながら歩いてみた」シリーズ③「蛍池駅～千里中央駅まで“みんなが子育て応援団モバイルスタンプラリー”をしながら歩いてみた」【前編】で蛍池図書館紹介記事	TNN豊中報道。2	2021.11	
座談会「多文化サービスについて」で、とよなか国際交流協会から、図書館との連携について紹介	図書館総合展サイト	2021.11	
きたむらさとし講演会『『スマイルショップ』へようこそ』の紹介	TNN豊中報道。2	2021.11	
きたむらさとし講演会『『スマイルショップ』へようこそ』Zoom参加受付案内	豊中市 子育て・子育て応援アプリ「とよふぁみ」 by 母子モ	2021.11	
絵本作家・きたむらさとしさんのおはなしライブ★『『スマイルショップ』へようこそ★』の紹介	ほっぺちゃん通信	2021.11	
「学ぶ育む No.2558 教育ルネサンス 変わる図書館 4 利用しにくい子ども招く」で岡町図書館「おやこでにほんご」と世界の子ども本の部屋の紹介	読売新聞	2021.4	新聞
「特集 図書館をもっと活用！ネットで予約をしてみよう」の見開き情報ページに図書館を紹介	豊中手帖2022	2021.11	冊子
第2章「地域住民と協働したデジタルアーカイブ」を執筆	JLA図書館実践シリーズ46 地域資料のアーカイブ戦略	2021.12	図書
豊中市のブックスタート事例、担当者の言葉の紹介	ブックスタートの20年	2022.1	
「れふぁれんす三題噺●連載その二百八十五 豊中市立図書館の巻」を寄稿	図書館雑誌	2021.6	雑誌
市内図書館連絡先・Webサイト案内を掲載	まみたん北摂版	2021.7 2021.9 2021.11 2022.1	ミニコミ誌

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらの実施となった。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン・地域子育て支援センター」「千里親子ふれあい広場」「こどもに絵本を手渡すために（南桜塚小学校PTA）」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター養成講座（小学生対象）」「とよなかまちゼミ」「公民館各種講座」「クイズバラエティ『千里ニュータウン大謎解き大会』」等

講師派遣

- ・枚方市学校図書館研修（枚方市立中央図書館）
- ・レファレンスデータベース企画協力員会議（国立国会図書館関西館・オンライン会議）
- ・東海北陸地区図書館地区別研修（名古屋市鶴舞中央図書館）
- ・豊中教組教育研究集会学校図書館分科会（南桜塚小学校）

視察受入

<受入団体>（ ）は受入施設

- ・福島大学、未来の図書館研究所（北摂アーカイブス・オンライン視察）

令和3年度の委員一覧

8. 図書館協議会

令和3年度は3回(7、11、2月)開催された。

(仮称)中央図書館基本構想の推進と読書バリアフリーをめざす社会動向を受け、豊中市立図書館における障害者サービスのあり方について議論をおこなった。

会議録は図書館Webサイトで公開している。

名 前	団 体 名・役 職 等
藤 原 二 郎	小学校長会代表
麻 植 昭 夫	中学校長会代表
永 富 奈 緒 美	こども園長会代表
天 瀬 恵 子	豊中図書館の未来を考える会
松 田 美 和 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 岸 本 岳 文	学識経験者
○ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
曾 我 部 和 子	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下「グランドデザイン」）の策定を機に、平成26年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。さらに、令和2年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下「基本構想」）の策定を機に「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は「基本構想」に包含する形で継承することとなった。

令和3年度は、5年ごとに実施する自己点検および外部評価にむけて、「基本構想」の評価指標を取り込み、評価項目表の見直しをおこなった。また「基本構想」の評価指標の一つ「利用者満足度」をはかる試行調査として「来館者アンケート」の質問内容を検討した。来館者アンケートは図書館協議会での議論を経て、令和4年度実施する予定である。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

コロナ禍で集会が困難なため「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」および「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」に替えて、以下の事業をおこなった。

「図書館の達人への道」は、調べ学習用ワークシートを配布し、調べた成果物を募集した。「本の紹介達人」は市内中学校で生徒がおすすめ本を紹介する様子を撮影し、動画を作成して表彰した。「図書館の達人への道」ワークシートの展示発表と「本の紹介達人」動画の上映会を「子ども読書活動フォーラム」として公共図書館4館（岡町・庄内・千里・野畑）で開催し、児童生徒の読書活動について市民に知ってもらう機会とした。

11. （仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下「基本構想」）策定に向け、令和3年度に実施した取り組みは以下のとおり。（5ページ参照）

<サウンディング型市場調査の実施>

8月に（仮称）中央図書館の候補地や整備手法、施設の魅力向上の可能性などを明らかにし、今後の検討に反映することを目的として、サウンディング型市場調査*を実施した。幅広い18の事業者・グループと対話を実施し、事業手法や複合化、魅力ある空間づくりなどについてメリットや課題を整理した。

* 新たな公共施設整備や公共サービスの提供を検討する場合において、民間事業者などとの対話を通じ、より良い方法を探ることを目的に実施する市場調査のこと。

<図書館関係団体向け勉強会>

「これからの公民学連携と図書館について」をテーマに、令和4年3月に、豊中市立図書館関係団体を対象とした勉強会を開催した。

創造改革課の職員を講師として、「豊中市における公民学連携の取組みについて」と題した講演を実施したほか、(仮称)中央図書館の整備に向けた検討状況と基本構想に基づく取組状況として電子書籍や読書バリアフリーについて、職員より説明をおこなった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインを併用し、会場21人、オンライン14人の合計35人の参加があった。

< (参考) (仮称) 中央図書館基本構想に定めた評価指標 >

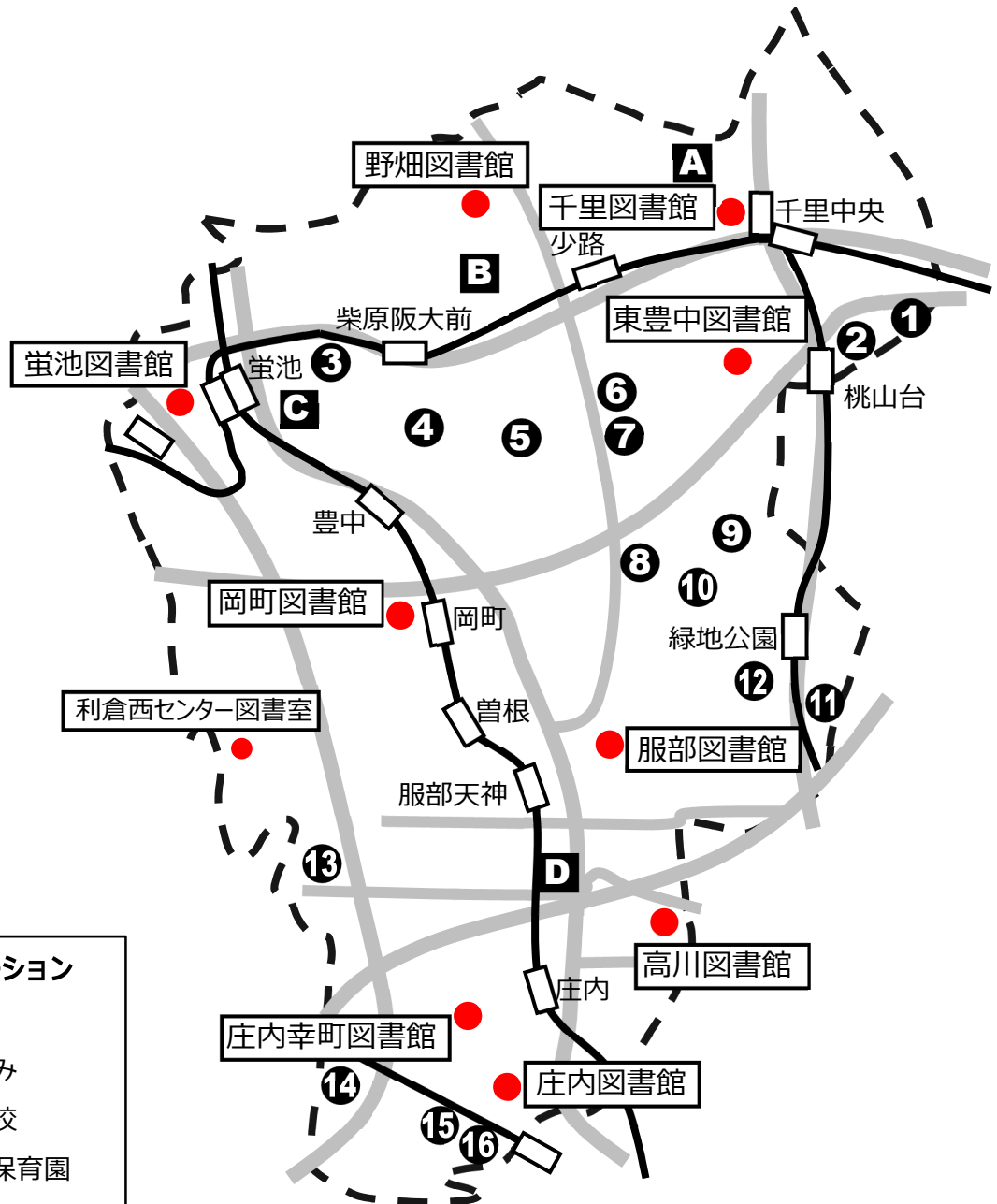
「基本構想」では、進行管理を目的とした評価指標と目標を設定している。令和3年度の各評価指標の値は以下のとおり。

評価指標		目標水準	令和3年度
指標①	実貸出利用率	中央館開館の翌年度に20%	14.4%
指標②	全館の年間利用者数	中央館開館の翌年度に200万人	1,350,751人
指標③	国立国会図書館レファレンス協同データベースに公開したレファレンス事例のアクセス数	60万件以上	960,364件
指標④	総出版数に対する図書館における購入タイトル数の比率	50%以上	52.0%
指標⑤	市民一人あたりの図書館費*	令和6年度に2,300円 中央館開館の翌年度に2,000円	2,501円
指標⑥	利用者満足度	(令和4年度実施予定の来館者アンケートにて試行調査)	

* ここで言う図書館費とは、予算上の図書館費だけでなく、公共図書館の維持管理運営に関する経費の総額とします。

施設案内

図書館マップ



- 施設巡回ステーション**
- A** 豊中支援学校
 - B** 発達支援あゆみ
 - C** 刀根山支援学校
刀根山こころ保育園
 - D** 児童発達支援センター

令和4年3月31日現在

- 動く図書館ステーション**
- | | |
|------------------------|----------------------------|
| ① 上新田 4 (朝日プラザ千里 A 棟) | ⑨ 東泉丘 4 (ジオ緑地公園 3 番館) |
| ② 上新田 4 (桃山台グリーンマンション) | ⑩ 西泉丘 2 (グランドールマンション) |
| ③ 刀根山元町 (刀根山元町北会館) | ⑪ 東寺内町 (寺内南公園) |
| ④ 刀根山 2 (天理教会高香分教会) | ⑫ 寺内 2 (日商岩井第 1 緑地公園マンション) |
| ⑤ 本町 9 (住友化学社宅 4 号棟前) | ⑬ 上津島 2 (上津島センター) |
| ⑥ 上野東 2 (堀田公園) | ⑭ 庄本町 3 (そんぼの家豊中庄本町横駐車場) |
| ⑦ 上野東 1 (豊松園ハイツ B 棟前) | ⑮ 二葉町 1 (市営二葉第二住宅) |
| ⑧ アルビス旭ヶ丘 (6 - 4 号棟北側) | ⑯ 大島町 2 (洲到止八幡宮) |

施設概要

館名	設置年月 構造	蔵書 冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋コンクリート造 4 階建/ 地下 1 階	約 24.2 万 冊	1,710.63 m ² 3,272.08 m ²	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.2 万冊	1,317.54 m ² 569.29 m ²	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 三和町 3-2-1 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (平成 5 年 2 月未改装) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 7.3 万冊	3,945.99 m ² 882.16 m ²	複合施設 庄内介護予防センター 庄内公民館
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6 万冊	3,240.34 m ² 1,257.90 m ²	複合施設 高川スポーツルーム 高川老人憩の家 高川介護予防センター
庄内幸町図書館 庄内幸町 4-26-14 6332-8220	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 1.2 万冊	205.49 m ² 484.58 m ²	
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化センター コラボ内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月リニューアル) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 14.7 万 冊	3,139.59 m ² 1,731.81 m ²	複合施設 市役所新千里出張所 千里保健センター 千里公民館 千里介護予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.4 万冊	3,282.22 m ² 807.97 m ²	複合施設 ゆたかこども園
野畑図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建 /地下 1 階	約 31.6 万 冊	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²	
蛍池図書館 蛍池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 鉄筋コンクリート造 7 階建	約 6.3 万冊	3,762.59 m ² 672.98 m ²	複合施設 蛍池公民館 パスポートセンター 豊中市教育センター 蛍池老人憩の家 商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,000 冊	ステーション 16 ヶ所 施設 5 ヶ所	
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 4,300 冊		

※動く図書館・図書室は岡町図書館所属

※いぶき図書室は、青少年交流文化館いぶき 3 階で予約資料受け渡しに特化したサービスに移行（令和 4 年 4 月より）

休館日・開館時間

岡町図書館 庄内図書館 野畑図書館	毎週月曜日（その日が休日*1に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日*2に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12月29日から翌年1月4日まで 館内整理日（12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 服部図書館	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 蛭池図書館	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が金曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
庄内幸町図書館*3	毎週月曜日、火曜日、木曜日及び金曜日、国民の祝日、12月29日から翌年1月4日まで 特別整理期間

*1 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*2 同法第2条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

*3 平成29年11月1日より開館日を水・土・日曜日の週3日に変更。自習・新聞閲覧スペースを設置（週6日）

		成人室	こども室	参考室	
岡町図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
庄内図書館	火～金	10時～19時	10時～17時	/	
千里図書館	月	10時～17時			
	火～金	10時～20時			
野畑図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
高川・蛭池図書館	月・水	10時～19時			
	火・木	10時～17時			
東豊中・服部図書館	火～金	10時～17時			
※上記図書館は、土・日 10時～17時					
庄内幸町図書館	水・土・日	10時～17時			
利倉西センター図書室	水・日	14時～17時			
いぶき（3階）サービス	水・土	13時15分～16時45分（青少年交流文化館いぶき内）			

※祝日・休日開館の場合は10時～17時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、蛭池図書館）



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030

4 質の高い教育を
みんなに



発行日
編集・発行

令和4年(2022年)9月発行
豊中市立岡町図書館
<https://www.lib.toyonaka.osaka.jp>